



# MBA

MASTER OF BUSINESS ADMINISTRATION

北九州市立大学  
ビジネススクール  
2027

北九州市立大学大学院 マネジメント研究科

# !! ごあいさつ

北九州市立大学大学院マネジメント研究科(K<sup>2</sup>BS)は、本年、20周年の節目を迎えます。振り返ればこの20年間、一昔前には想像もつかなかったほど社会変化の速度は増えています。2010年代に入り、変化の激しさや予測困難性を表す「VUCA」の到来が叫ばれ始めたのはご承知の通りです。単純な延長線上に未来はなく、新たな価値を創造する者だけが生き残る時代。この言葉が広く使われる直前の2007年、アメリカでiPhoneが発売されました。現在ではスマートフォンが登場する以前の生活を思い出すことすら難しくなっています。まさに、数年で世界が一変してしまう時代を我々は生きているのです。

このiPhone発売の年、K<sup>2</sup>BSは産声を上げました。「VUCA」はまだ人口に膾炙していませんでしたが、我々が見据えていたのは、先行き不透明な環境の変化を機敏に捉え、果敢に行動できる人材の育成でした。創設時に発行したフリーペーパー『Agilitas(アジリタス)』は、機敏さや柔軟性を意味する「agility」を語源としています。混迷の度合いを増す現代において、企業はいかにして持続的成長を果たすべきか。個人はどのような能力を身につけるべきなのか。その答えがここにあります。

K<sup>2</sup>BSが重視するのは「理論的学び」と「現場的学び」の融合です。理論は進むべき方向を指し示す羅針盤であり、現場は自らの立脚点(課題)を正確に把握するために欠かせません。この両輪が揃ってはじめて、実践で生きる学びとなります。さらに重要なのが、主体的かつ相互に高め合う環境です。教員が一方的に講義し、学生がノートを取るだけの授業はここにはありません。徹底的な議論、問いかけ、チームでのアイデア構築など、すべてが双方向で展開します。「知っている」を超えて「現場で使える」こと。それこそが本質です。業務経験だけでは習得に気の遠くなるような時間を要する能力を、この2年間で凝縮して体得してください。未来を共に切り拓く、志高き皆さんをお待ちしています。



北九州市立大学大学院  
マネジメント研究科長

松永 裕己



## 経営系専門職大学院認証評価について

北九州市立大学大学院マネジメント研究科は2025(令和7)年度に4度目の(公財)大学基準協会による経営系専門職大学院認証評価を受け、同協会の経営系専門職大学院基準に適合していると認定されました。

## 北九州市立大学ビジネススクール(K<sup>2</sup>BS)の概要

| 名 称                                                  | 設置時期                  |
|------------------------------------------------------|-----------------------|
| 大学院マネジメント研究科<br>マネジメント専攻                             | 2007(平成19)年4月         |
| 課 程                                                  | 学生定員                  |
| 専門職学位課程                                              | 60名(1学年30名×2年)        |
| 学位名称                                                 | 修業年限                  |
| 経営学修士(専門職)<br>Master of Business Administration【MBA】 | 2年(最長4年までの長期履修学生制度あり) |
|                                                      | 修了要件                  |
|                                                      | 40単位                  |

## 持続可能な地域社会を創造するリーダーを育成する

### K<sup>2</sup>BSの 設立主旨

革新的な事業創造、革新的な組織変革。

これらを実現するためには、科学と経験の両論を駆使できる高度なマネジメント力が不可欠です。

北九大ビジネススクールは、こうした高度な実践的マネジメント力を

組織的に育成することを目的・使命として開設します。

従来の大学院とは異なる実践的な専門教育、一般の専門学校とは異なる体系的・理論的な専門教育。

これが専門職大学院ビジネススクールの特長です。

北九大ビジネススクールでは、体系的な理論研究を積み重ねてきた大学教員と、

実社会で豊富な経験と実績を積み重ねてきた実務家教員の両者が、

手を携えてリーダー育成教育に組織的に取り組みます。

科学の「知」と経験の「知」が結集してみなさんと向き合っていきます。

## !! 北九州市立大学ビジネススクールの特徴



### 実践知と理論知

アカデミックな「知」と経験ベースの「知」の双方が融合した実践的なプログラムを提供しています。そのため、様々な分野のスペシャリストを特任教授として招聘しています。

### ビジネスとパブリック

マネジメント能力は、ビジネス分野はもちろんのこと、パブリックの現場にも求められる能力です。これら双方にとってベースとなる科目に加えて、ビジネス・パブリックそれぞれの応用科目を配置しています。

### 中華ビジネス

グローバル化が進むビジネス環境の中で、北九州市立大学の中国語教育の蓄積と中華ビジネス研究の蓄積、中華圏の有力ビジネススクールとの連携をベースにした、中華ビジネス科目を配置しています。

### ソーシャルビジネス

課題“解決”先進都市を目指している北九州市の特性を踏まえて、医療・福祉・環境・安全・安心などの社会的な問題の解決手段として注目されるソーシャルビジネス系科目を配置しています。

# 目的・入学者受入れ方針

[AP:アドミッション・ポリシー]

## ■教育目的

営利組織及び非営利組織が活動する各領域で、革新的な事業創造・組織変革を推進するために幅広い専門知識を吸収し、総合的な課題解決能力を養い、高い倫理観とグローバル的視野を持った、地域をリードする高度専門職業人の養成

## ■入学者受入れ方針

マネジメント研究科マネジメント専攻では、以下のような人を求めています。

- 学問体系に裏付けられた実践的なマネジメントを学び、地域、社会での実践を目指す高い意欲を持つ人
- マネジメントに関する実践的な問題意識をもって、ディスカッションに参画できる経験と見識を持つ人
- グローバル社会に通用する思考力、判断力、コミュニケーション力を持つことを希求する人

# 教育課程編成・実施方針

[CP:カリキュラム・ポリシー]

マネジメント研究科は、ビジネス分野だけでなくパブリック分野においても革新的な事業創造や組織変革等を担える専門職業人を養成することを目的としており、これに対応する教育課程を編成し、実施していく。

- 教育課程はベーシック科目(基礎科目)、アドバンスト科目(基本科目)、エグゼクティブ科目(専門・応用科目)、プロジェクト研究科目(実践科目)の4つの科目区分で構成する。
- 科目構成は、積み上げ方式によるステップアッププログラムである。すなわち、上記4科目区分を段階的・スパイラル的に履修する教育システムを採用する。

## ■修了・進級要件

科目区分による修了要件は、2年以上在学することかつ、ベーシック科目10単位、アドバンスト科目12単位以上、エグゼクティブ科目10単位以上、プロジェクト研究科目8単位の合計40単位以上の修得を必要とする。進級要件は、1年次においてベーシック科目8単位以上、アドバンスト科目6単位以上、プロジェクト研究科目4単位の合計18単位以上の修得を必要とする。

# 学位授与方針

[DP:ディプロマ・ポリシー]

## ■高度な専門的知識・技能

- マネジメント理論に関する専門知識を修得している。それらの専門知識に基づいて、組織や地域、社会が直面する問題や課題について、十分な議論を行うことができる。  
【理論知識】
- ビジネスやパブリックのマネジメントに関する実践的な知識を修得するとともに、それらを活用してグローバル化や多様な社会問題に対応するための専門知識を身につけている。  
【実践知識】
- マネジメントに関する定性的、定量的な分析能力、課題に対する観察能力や解決能力といった技能を修得している。  
【分析解決技能】
- 職業人に不可欠な問題処理、財務や会計、語学能力といった実践的な技能を身につけている。  
【実務技能】
- 新たなニーズの探索、それを事業に結び付ける構想、連携やネットワークづくりといった新規事業に必要な技能を身につけている。  
【新規事業技能】

## ■高い問題解決能力と表現力

- マネジメントに関する問題や課題を抽出し、その本質的な特徴を捉え、それらに対する解決策を導き出し、的確に表現できる。  
【思考・判断・表現力】

## ■高い倫理観に基づいた自律的行動力

- 地域、社会に貢献するとともに、市民としての責任感と倫理観を身につけている。  
【倫理観】
- 企業経営や公共経営等に関する課題に高い見識を持ち、常に挑戦する姿勢や変革する力を持っている。  
【経営変革態度】
- リーダーとして主体的に行動を起こし、地域の課題に積極的に取り組むことができる。  
【地域リーダー態度】
- 東アジア等の諸外国に対して関心や理解を持ち続け、国際社会の中で競争力を維持・強化するだけでなく協調的な態度がとれる。  
【国際協調態度】

詳細は  
こちらから



# !! 働きながら学ぶ [社会人の修学環境]

K<sup>2</sup>BSは働く皆さんの味方です!

通学に便利な  
小倉サテライト  
キャンパス  
と  
北方キャンパス

## 平日は夜間に授業

平日は夜18:30～90分×2コマの授業を  
小倉サテライトキャンパスで!

## 土曜日は昼間に授業

土曜日は北方キャンパスで終日授業

## 自習室や図書室

北方キャンパスの図書館では、終日利用可能な大学院生専用のスペースを備えています。また北方キャンパスの資料室や小倉サテライトキャンパスにも自習スペースや図書、パソコンなどを備えています。

## 修学アドバイザー制度

専任教員が入学手続き後から修了まで、学生一人一人の特性に応じた履修モデルを助言する修学指導の制度を導入しています。学生の課題達成を強力にサポートします!

## 専門実践教育訓練給付金制度

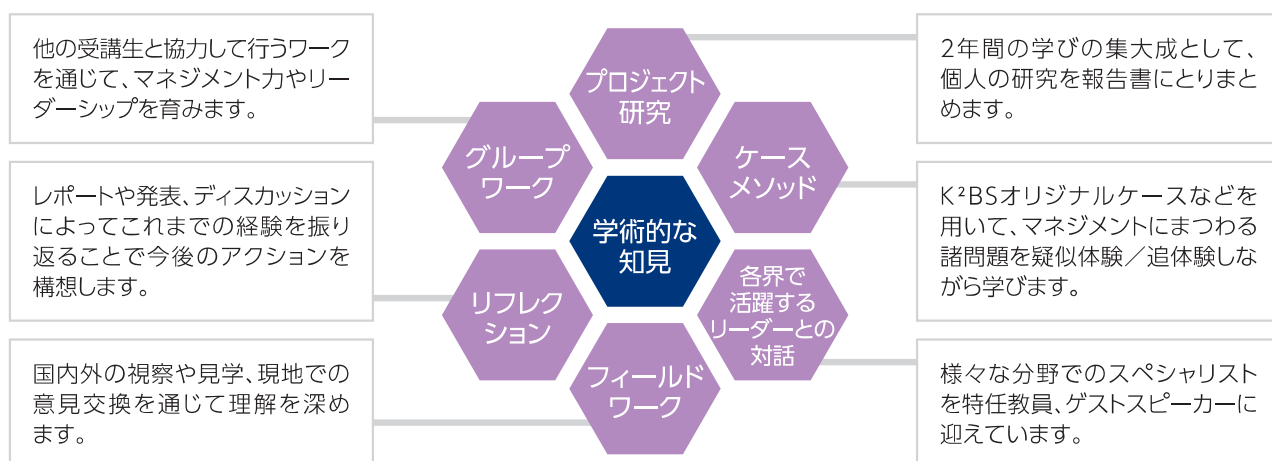
K<sup>2</sup>BSは、専門実践教育訓練給付金制度の指定講座です。一定の要件を満たした場合、修了後に入学金・授業料の一部がハローワークより支給されます。(詳しくは14ページ)

## 長期履修制度

標準修業年限である2年間での修了が困難な場合、最長4年間で計画的に履修し、修了する制度です。授業料は2年間分の授業料の総額を、長期履修が認められた年数で分割して納めます。(詳しくは14ページ)

# !! インタラクティブな学びの場

企業のマネジメントの諸問題を追体験する「ケースメソッド」をはじめ、グループワークやフィールドワーク、リーダーとの対話などインタラクティブな授業により意見を交わしあい問題解決のアイデアを探るアプローチ法を多数用意しています。

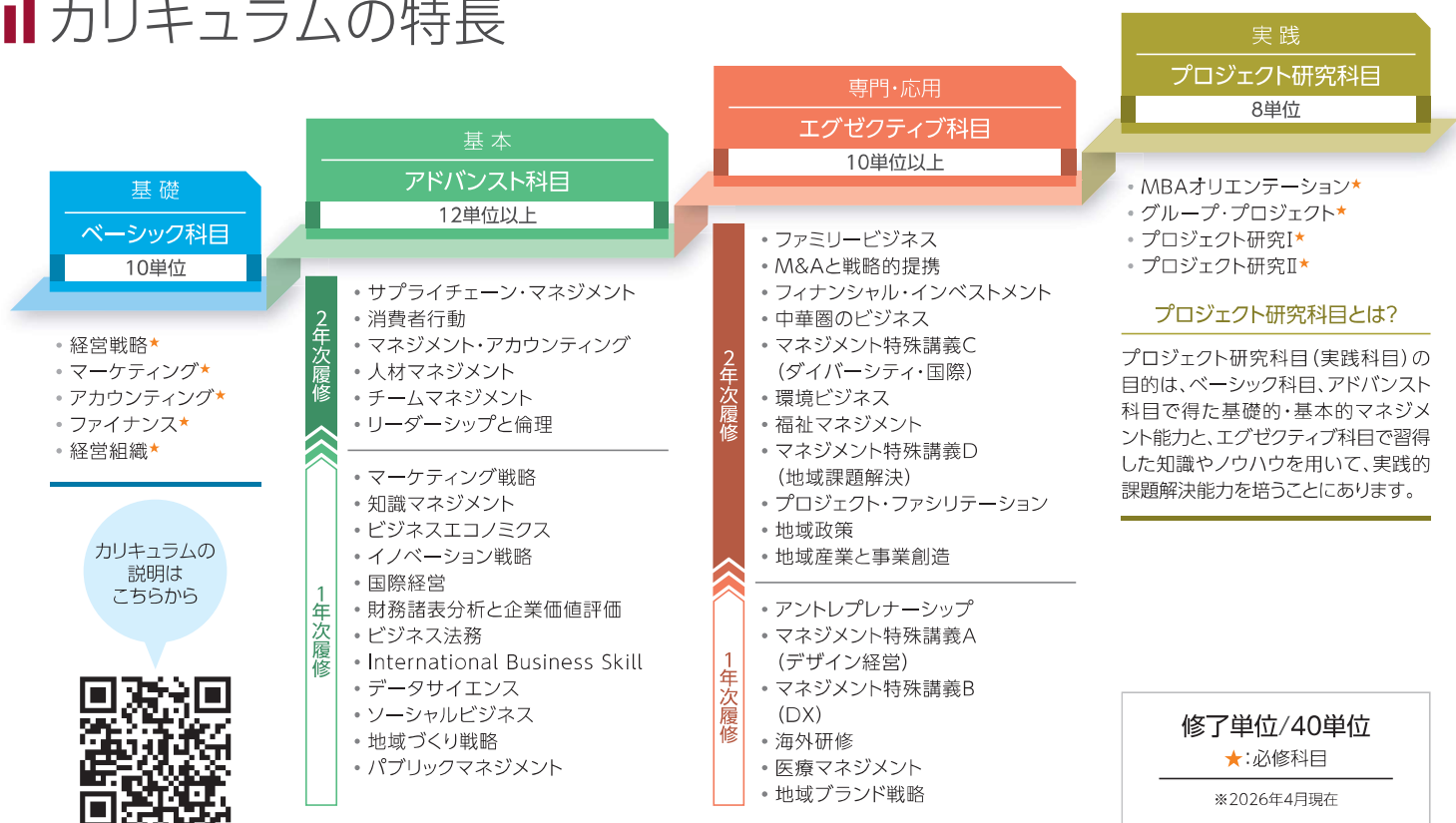


グループワークの様子

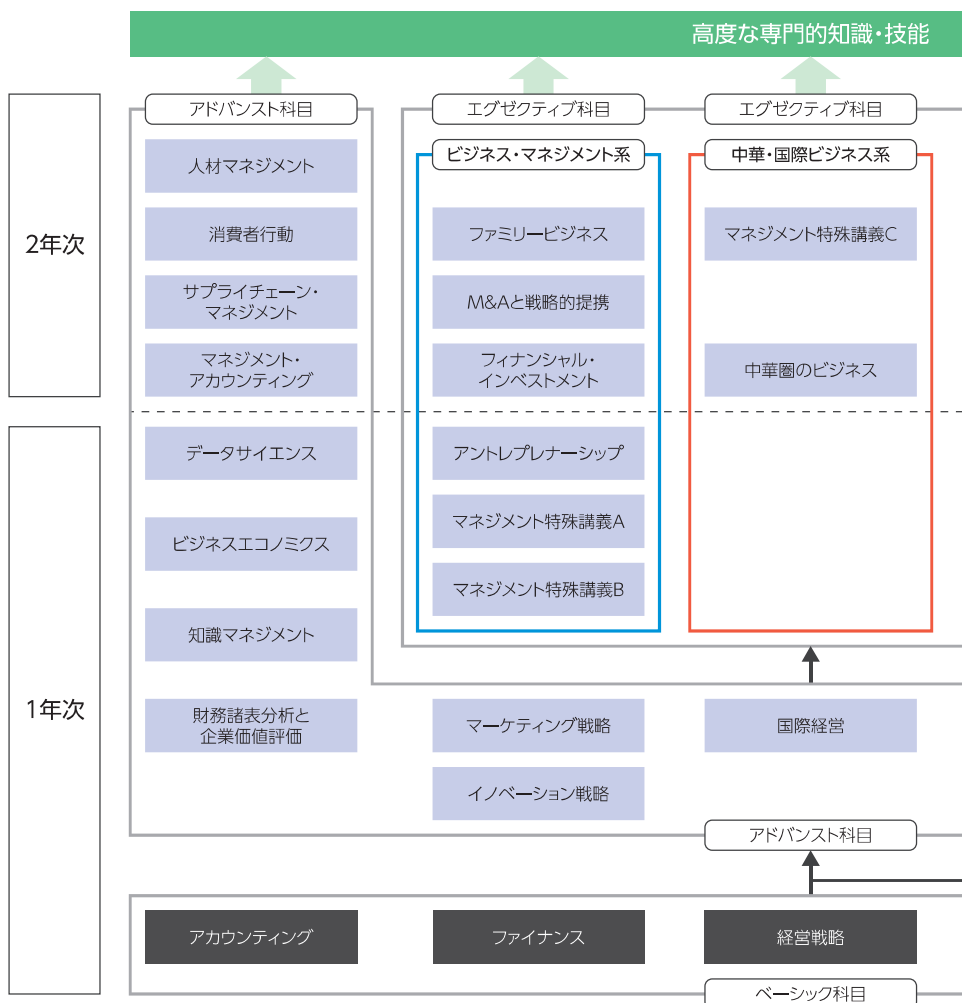


フィールドワークの様子

# カリキュラムの特長



# 科目分野リスト



## 積み上げ方式による ステップアップ プログラム

K<sup>2</sup>BSのカリキュラムは、大きく分けて①ベーシック(基礎)科目、②アドバンスト(基本)科目、③エグゼクティブ(専門・応用)科目、④プロジェクト研究(実践)科目の4つから構成されています。基礎的な知識をベースに、応用的な知識を学ぶために、また課題を抽出し、分析し、そして解決する能力(気づき、考え、提案・実践する)を培うために、基礎科目から専門・応用科目へ進む積み上げ方式のステップアップ型プログラムを採用しています。

## 多様な教育方法

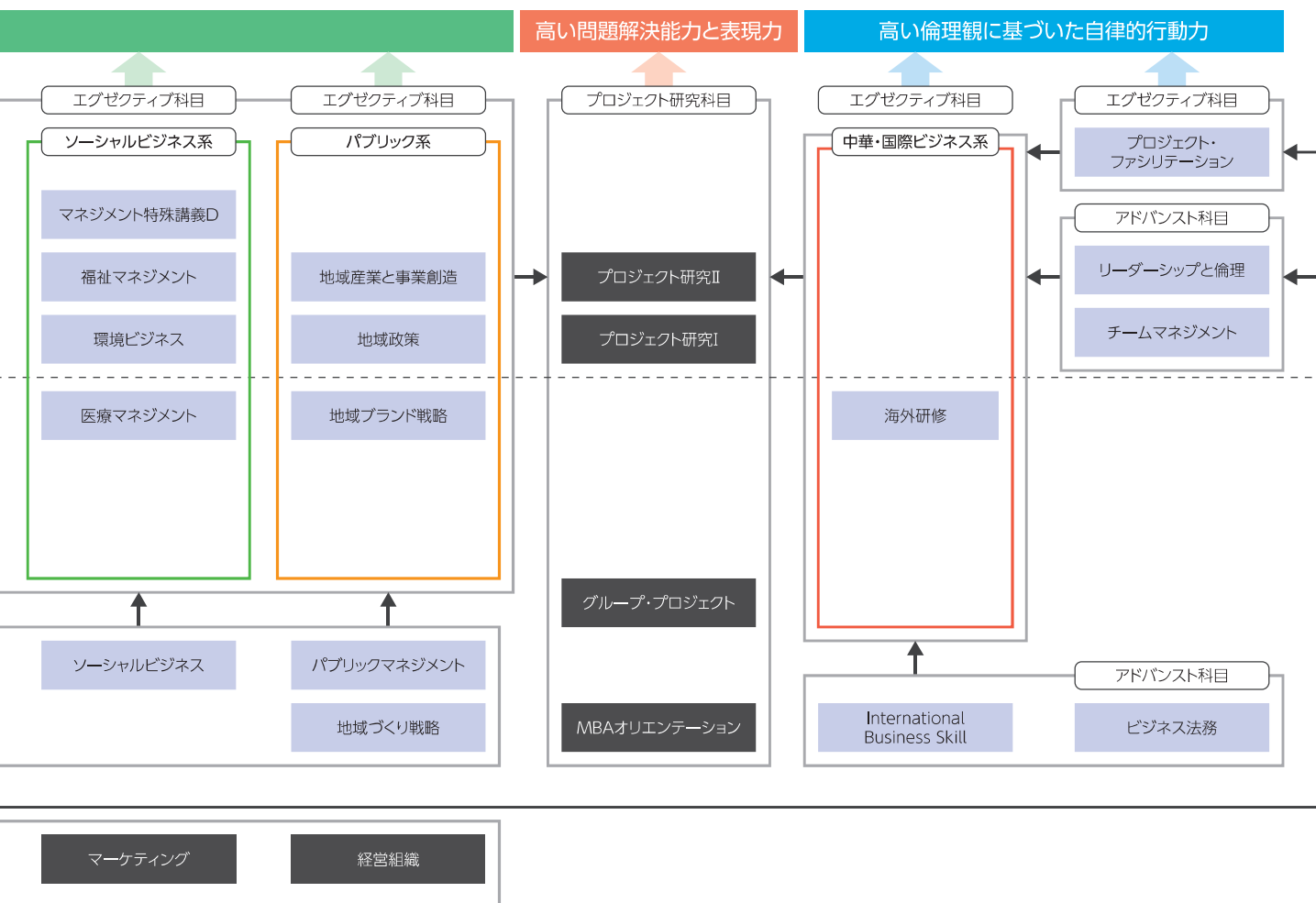
授業は、一方的な講義ではなく双方向な授業を重視しています。そのためグループワークや教室内での議論、プレゼンテーションの機会が多数設けられています。また、適宜レポート作成が課されます。これらを通じて、自分の考えをまとめ、磨き上げ、他人に伝える訓練を行います。

また、経営の実践を体感し経験する場として、様々な教育方法を組み合わせて提供していきます。ケーススタディのみならず、優れた経営者との対話、フィールドワーク等を活用することで、理論と実践の相互作用が期待されます。

## ゼミ方式

演習としては、1年次にグループ・ディスカッションが設置されています。これを通じてグループ学習・グループ討議を繰り返し、各自の研究テーマの探索・発見を試み、研究テーマを深掘りするための思考方法や分析手法の習得を意図しています。2年次のプロジェクト研究では、各自の問題意識に基づいて専任教員の指導の下で、独自の研究テーマを深める作業を行います。同様の関心を有する学生と切磋琢磨することで、1年間かけてプロジェクト研究報告書を作成します。ゼミで身につく構想力、行動力、論理的思考、専門的な知識は、MBAとして卒業後に活躍する際に大切な知的基盤になります。

詳細は  
こちらから



# 基本的な履修モデル

| 年次       | 学期  | 授業科目の区分ごとの授業単位数                                                           |                             | 合計単位数           |                 |
|----------|-----|---------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|-----------------|-----------------|
| 1年次      | 1学期 | ベーシック科目(基礎科目)<br>アドバンスト科目(基本科目)<br>プロジェクト研究科目(実践科目)                       | 6単位<br>4単位<br>2単位           | 1学期<br>12単位     | 1年合計単位数<br>24単位 |
|          | 2学期 | ベーシック科目(基礎科目)<br>アドバンスト科目(基本科目)<br>エグゼクティブ科目(専門・応用科目)<br>プロジェクト研究科目(実践科目) | 4単位<br>4単位<br>2単位<br>2単位    | 2学期<br>12単位     |                 |
| 2年次      | 1学期 | アドバンスト科目(基本科目)<br>エグゼクティブ科目(専門・応用科目)<br>プロジェクト研究科目(実践科目)                  | 4単位<br>4単位<br>2単位           | 1学期<br>10単位     | 2年合計単位数<br>16単位 |
|          | 2学期 | エグゼクティブ科目(専門・応用科目)<br>プロジェクト研究科目(実践科目)                                    | 4単位<br>2単位                  | 2学期<br>6単位      |                 |
| 修得単位数の合計 |     | ベーシック科目(基礎科目)<br>アドバンスト科目(基本科目)<br>エグゼクティブ科目(専門・応用科目)<br>プロジェクト研究科目(実践科目) | 10単位<br>12単位<br>10単位<br>8単位 | 修得単位数合計<br>40単位 |                 |

※1年間において履修登録できる単位数の上限は、集中講義の授業科目を除き、32単位(年間)とする。

## 各人の関心に応じた履修が可能

K<sup>2</sup>BSでは4つの分野で履修モデルを示しています。学生は、履修モデルを参考にしながら、自身の関心に応じて履修を組み上げることができます。

### 1 プロフェッショナル・ビジネスリーダー型

変化の激しい時代を切り拓く、実行力あるリーダーを育成します。経営の知識とスキルを体系的に学び、新たな事業や組織変革を自らの手で成し遂げます。学びの場で築いた人脈を活かし、責任感と倫理観を持って地域や世界で信頼される経営者として、持続的な成長をけん引します。

### 2 国際ビジネス・リーダー型

日本と中華圏を中心とした東アジアのビジネスを深く理解し、地域をつなぐリーダーを育てます。知識を整理し、行動につなげる力を養成。企業や組織の国際戦略を担い、国境を越えて人・組織を動かす統率力で新たなビジネスチャンスを開拓します。

### 3 パブリック・リーダー型

地域や社会の課題を解決し、新たな価値を生み出すリーダーを育成します。公共の視点と経営の視点を融合させ、実効性のある事業を自らの手で動かします。多様な人々や組織と連携し、地域を変える行動力と調整力を身につけます。

### 4 ソーシャルビジネス・リーダー型

社会の課題に真正面から挑み、ビジネスの力で解決策を生み出すリーダーを育てます。行政、NPOや企業、地域の人々と手を組み、収益と社会貢献を両立する力強い事業を動かします。支援者や仲間を巻き込み、持続的に広がる活動をリードします。

# 時間割

## 2026年度開講の時間割

※当該年度実績のため、翌年度以降の時間割は適宜変更となります

月曜日～土曜日 毎：毎週1時限で開講 隔：隔週2時限連続で開講 ★印は必修

## 2026年度 開講期間

|      |                       |
|------|-----------------------|
| 1学期  | 2026年4月6日～7月29日       |
| 2学期  | 2026年9月28日～2027年1月25日 |
| 集中講義 | 2026年8月17日～9月19日      |

| 年次 |     | 1年次 |                 |    |                                 |     |                   |             |                 | 2年次 |                      |    |                      |     |                     |            |               |  |
|----|-----|-----|-----------------|----|---------------------------------|-----|-------------------|-------------|-----------------|-----|----------------------|----|----------------------|-----|---------------------|------------|---------------|--|
| 曜日 | 時限  | 1学期 |                 |    |                                 | 2学期 |                   |             |                 | 1学期 |                      |    |                      | 2学期 |                     |            |               |  |
|    |     | A週  |                 | B週 |                                 | A週  |                   | B週          |                 | A週  |                      | B週 |                      | A週  |                     | B週         |               |  |
| 月  | 6・7 | 隔   | マネジメント<br>特殊講義B | 隔  | 国際経営                            | 隔   | 医療<br>マネジメント      | 隔           | パブリック<br>マネジメント | 隔   | マネジメント<br>特殊講義D      | 隔  | 福祉<br>マネジメント         | 隔   | サプライチェーン・<br>マネジメント |            |               |  |
| 火  | 6・7 | 隔   | ビジネス法務          | 隔  | 地域ブランド<br>戦略                    | 隔   | マネジメント<br>特殊講義A   | 隔           | マーケティング<br>戦略   | 隔   | フィナンシャル・<br>インベストメント | 隔  | プロジェクト・<br>ファシリテーション | 隔   | マネジメント<br>特殊講義C     |            |               |  |
| 水  | 6・7 | 隔   | ビジネス<br>エコノミクス  | 隔  | International<br>Business Skill | 隔   | アントレプレナー<br>シップ   | 隔           | イノベーション<br>戦略   | 隔   | 中華圏の<br>ビジネス         | 隔  | 地域政策                 | 隔   | リーダーシップと<br>倫理      |            |               |  |
| 木  | 6・7 | 隔   | データサイエンス        | ★隔 | 経営戦略                            | ★隔  | ファイナンス            | ★隔          | 経営組織            | 隔   | 人材マネジメント             | 隔  | マネジメント・<br>アカウンティング  | 隔   | 消費者行動               | 隔          | ファミリー<br>ビジネス |  |
| 金  | 6・7 | ★隔  | マーケティング         | ★隔 | アカウンティング                        | 隔   | 財務諸表分析と<br>企業価値評価 | 隔           | 知識マネジメント        |     |                      | 隔  | 地域産業と<br>事業創造        |     |                     |            |               |  |
| 土  | 2   | ★毎  | MBAオリエンテーション    |    |                                 |     | ★毎                | グループ・プロジェクト |                 |     |                      |    |                      |     |                     |            |               |  |
|    | 3・4 |     |                 |    |                                 | 隔   | 地域づくり戦略           | 隔           | ソーシャル<br>ビジネス   | 隔   | 環境ビジネス               | 隔  | M&Aと<br>戦略的提携        |     |                     |            |               |  |
|    | 6   |     |                 |    |                                 |     |                   |             |                 | ★毎  | プロジェクト研究I            |    |                      |     | ★毎                  | プロジェクト研究II |               |  |

## 集中講義

| 年次 | 1年次  | 2年次       |
|----|------|-----------|
|    | 海外研修 | チームマネジメント |

## 修了要件

|                    |                   |             |
|--------------------|-------------------|-------------|
| ■ ベーシック科目／10単位     | ■ アドバンスト科目／12単位以上 |             |
| ■ エグゼクティブ科目／10単位以上 | ■ プロジェクト科目／8単位    | 合計 40単位以上取得 |

# 履修例

公務員として異動を重ねる中で、特定の分野に限らず幅広い業務に応用できる力を身につけたいと考え、これまでの職務経験と関連する科目に加え、組織運営や課題解決など、どの職場でも生かすことができる科目をバランスよく履修しました。同時に、各科目の勉強時間を十分確保することを優先し、科目数が多くなりすぎないように選択しました。また、課題は土日のまとまった時間で取り組み、仕事がある平日は通勤時間や職場から大学までの移動時間を活用し、シラバスで示された参考文献等を読み込んで、講義に臨むよう心掛けました。K<sup>2</sup>BSでの2年間は新たな学びに満ちた刺激的な時間でした。修了後も様々なことに関心を持ち、実践的な知見を広げていきたいと思っています。



宮田 和明さん

(18期生／2025年度修了)

月曜日～土曜日 毎：毎週1時限で開講 隔：隔週2時限連続で開講 ★印は必修

| 年次 |     | 1年次    |               |        |                                 |        |                 |             |      | 2年次 |        |           |               |     |       |        |            |  |  |
|----|-----|--------|---------------|--------|---------------------------------|--------|-----------------|-------------|------|-----|--------|-----------|---------------|-----|-------|--------|------------|--|--|
| 曜日 | 時限  | 1学期    |               |        |                                 | 2学期    |                 |             |      | 1学期 |        |           |               | 2学期 |       |        |            |  |  |
|    |     | A週     |               | B週     |                                 | A週     |                 | B週          |      | A週  |        | B週        |               | A週  |       | B週     |            |  |  |
| 月  | 6・7 |        |               |        |                                 | 隔      | ソーシャル<br>ビジネス   |             |      |     |        |           |               |     |       |        |            |  |  |
| 火  | 6・7 |        |               | 隔      | 国際経営                            | 隔      | マネジメント<br>特殊講義A |             |      |     |        |           |               |     |       |        |            |  |  |
| 水  | 6・7 |        |               | 隔      | International<br>Business Skill |        |                 |             |      |     |        |           |               |     |       |        |            |  |  |
| 木  | 6・7 |        |               | ★<br>隔 | 経営戦略                            | ★<br>隔 | ファイナンス          | ★<br>隔      | 経営組織 | 隔   | 地域政策   |           |               | 隔   | 消費者行動 |        |            |  |  |
| 金  | 6・7 | ★<br>隔 | マーケティング       | ★<br>隔 | アカウンティング                        |        |                 |             |      |     |        | 隔         | 地域産業と<br>事業創造 |     |       |        |            |  |  |
| 土  | 2   | ★<br>毎 | MBAオリエンテーション  |        |                                 |        | ★<br>毎          | グループ・プロジェクト |      |     |        |           |               |     |       |        |            |  |  |
|    | 3・4 | 隔      | イノベーション<br>戦略 | 隔      | 地域ブランド<br>戦略                    |        |                 |             |      |     |        |           |               |     |       |        |            |  |  |
|    | 6   |        |               |        |                                 |        |                 |             |      |     | ★<br>毎 | プロジェクト研究I |               |     |       | ★<br>毎 | プロジェクト研究II |  |  |

## 集中講義

| 年次 | 1年次  | 2年次       |
|----|------|-----------|
|    | 海外研修 | チームマネジメント |

|                  |                 |           |
|------------------|-----------------|-----------|
| ■ ベーシック科目／10単位   | ■ アドバンスト科目／12単位 |           |
| ■ エグゼクティブ科目／10単位 | ■ プロジェクト科目／8単位  | 合計 40単位取得 |

# 在校生・修了生メッセージ

白石 実歩子さん

19期生  
2025年度入学



## なぜ今、K<sup>2</sup>BSでの学びが必要だと感じたのですか？

今後中間管理職の立場になるにあたり、会社全体を主に経営の側面から捉え多様な視点で判断できる力が不可欠だと考えています。そのためそれらを体系的に学ぶため、ビジネススクールの進学を決めました。その際、現場での経験を理論と結びつけより実務に直結する学びには対話が重要だと感じ、様々な視点での議論を通じて思考を深められる対面講義の環境があるK<sup>2</sup>BSを選びました。

## 多様な仲間との対話は、ご自身の視座をどう変えましたか？

K<sup>2</sup>BSでは多様なバックグラウンドを持つ先生方や学友と日々対話を通じて学びを深める環境が整っています。立場や経験にとらわれることなくフラットに対話できる点が大きな刺激になっています。自分では気づけなかった考え方が培われ、物事をより高い視座で捉えられるようになったと感じています。日々の学びはすぐに業務に還元することを意識しており、会社での経済活動を通じ社会へ貢献できる人材になりたいと思っています。

後藤 史子さん

17期生  
2024年度修了



## 共に学んだネットワークは、現在の活動にどう活かしていますか？

修了後、この「志」を手放したくない!と強く感じたことを思い出します。K<sup>2</sup>BSで学んだ仲間は、課題感を同じ水準で共有できる強力なネットワークです。講義内外で課題感を共有し、共に解決方法を検討した仲間とNPO法人ウェルラボを設立するに至りました。マネタイズは決して得意ではありませんが、社会課題解決への強い想いを持つ「K<sup>2</sup>BSで繋がった仲間」が活動を支えています。

## 「志」を「実際の仕組み」に変えるにあたって、K<sup>2</sup>BSでの学びで生かされたものは何ですか？

ソーシャル系の科目では、気合と根性だけでは続かない社会課題解決をビジネスにすることができるという学びがあり、単なるボランティアではなくNPOなど法人組織として“カタチ”を作ることの必要性を学びました。人の為＝「偽（いつわり）」とならないためにもビジネスの観点を持ち、持続可能性を持った組織運営を考える基礎を教えてくださいました。

川村 洋史さん

19期生  
2025年度入学



## K<sup>2</sup>BSで学ぶことで経営現場の課題の見え方は変わりましたか？

これまで感覚的に捉えていた経営課題を、フレームワークや理論を通じて整理し、言語化して理解できるようになりました。また、ソーシャルビジネスやファシリテーションなど今まで深く触れる機会の少なかった分野についても学ぶことができ、経営をより広い視野で考えられるようになりました。後継者として不安もありましたが、学びを通じて少し自信ができました。

## 学生同士での『経験の共有』による、自身の変化はありますか？

大きく変化しました。これまでも様々な団体に所属してきましたが、近い属性の人が集まる場がほとんどでした。一方、K<sup>2</sup>BSでは大企業の中間管理職、中小企業の経営者、看護師、留学生など、幅広い業種、年齢、役職、国籍の方が在籍しており、本当に多種多様な方と交流できます。異なる経験や価値観に触れることで全く新しい知見を得ることができ、自分の考えの偏りに気付き、自身の強みや課題もより明確になりました。

緒方 啓人さん

18期生  
2025年度修了



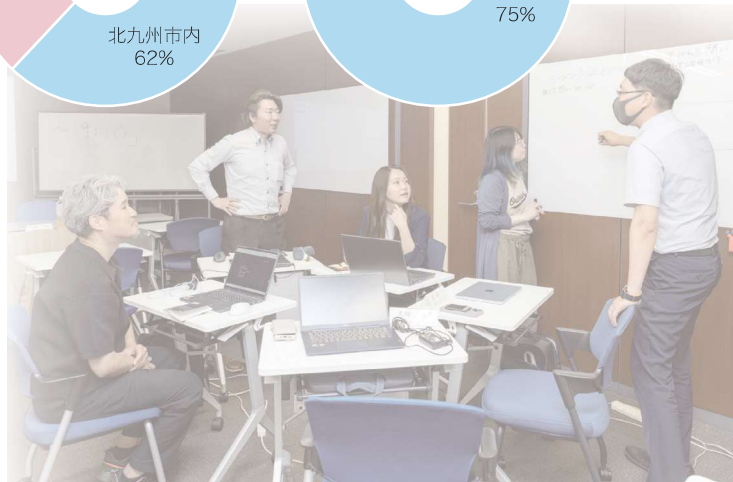
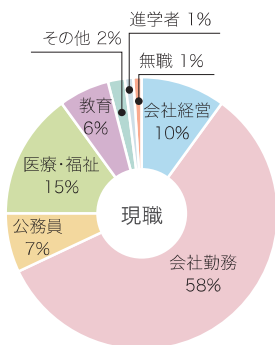
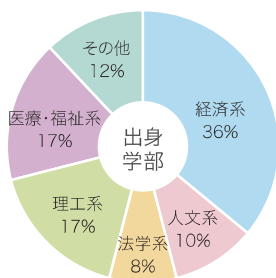
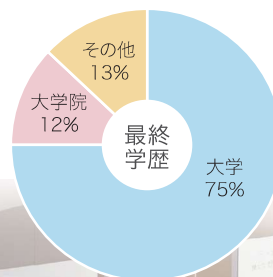
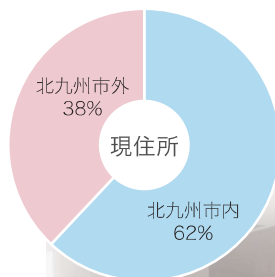
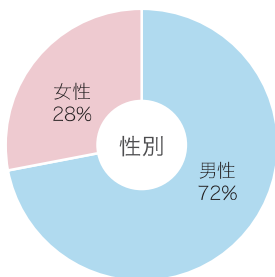
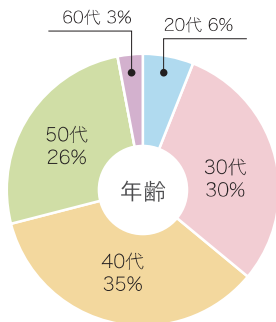
## 修了後、取り組むべき課題の「視野」はどう変わりましたか？

従来は担当領域の中で物事を捉えることが中心でしたが、課題をどの視点から捉えるかという前提自体が変わりました。目の前の現象にとどまらず、その要因や仕組みまで踏み込んで考えるようになり、背後にある関係性や本質を捉えながら課題に向き合うようになりました。自部門にとどまらず、各利害関係者の立場や意図も踏まえて物事を捉えることを意識しています。

## 学んだスキルを、どのように組織へ還元されていますか？

経験や感覚で捉えていた内容を言語化し、組織内で共有するようにしています。現場では経験則や過去事例に基づいた議論になりがちで、第三者に伝わりにくいことがあります。理論をもとに事象を捉え直すことで、再現性と伝わりやすさを両立した議論・意思決定につなげています。アカデミックな知識は現場知と組み合わせることでこそ生きており、判断プロセスや理論を共有し、組織として活用できる形にしています。

## 在校生データ [2026年度] n=69人



## 修了生ネットワーク

K<sup>2</sup>BSで学ぶことで、K<sup>2</sup>BSの約450名の修了生との強固なネットワークも活用できます。既に、同級生同士や先輩・後輩によるコラボレーションも誕生しています。また、北九州市立大学自体との関係性も築くことができます。

### マネジメント研究会(同窓会)

修了生ネットワークの中核となるのは、マネジメント研究会です。マネジメント研究会は、K<sup>2</sup>BSの修了生や教員を会員とした組織です。単なる同窓会組織ではなく、修了後も共に学ぶことを目的とした組織です。よって、新入生歓迎会などに加えて、自主的な勉強会やセミナーなど様々な交流の場を主催・共催しています。



2026年度  
新入生歓迎会



修了生セミナー(2026年3月)

K<sup>2</sup>BS初代研究科長  
齋藤貞之先生による講演会

## マネジメント研究会代表メッセージ

マネジメント研究会は、北九州市立大学大学院マネジメント研究科を修了した者が集う同窓会組織です。年齢や性別を問わず、多様なバックグラウンドを持つ仲間が大学と連携し、卒業後も継続して学び合い、刺激し合える場として活動を続けています。急速な変化が続く予測困難な時代において、生涯を通じた学び直し「リカレント教育」の重要性はますます高まっており、当会はMBA修了後も、学びと実践の往復を支える環境を提供しています。また、本研究科は、北九州を拠点とした、アジア圏域でのビジネスや、医療・福祉などソーシャルビジネスにも強みを持ち、地域を見つめ直す視点や、シビックプライドを育む場でもあります。その学びから得られるのは知識の習得だけでなく、そういった分野への熱意ある人々との出会いは、人生の扉を開く原動力にもなります。同期との「ヨコ」の関係に加え、世代を超えた「タテ」、さらに異なる分野の人々との「ナナメ」の関係も築かれ、そこから人生の中における、次のステージへとつながるヒントやチャンスが数多く生まれています。実際に、当会をきっかけに新たな挑戦に踏み出した方も少なくありません。皆さまとのご縁を、心より楽しみにしております。



権頭 喜美恵さん

(11期生／2019年度修了)

# 教員紹介 [ 2026年4月1日現在 50音順 ]

教 授  
**王 効平** Wang Xiao-ping

国際経営  
海外研修  
プロジェクト研究科目

専門分野 国際経営、比較経営、アジア経営論

准教授  
**高橋 秀直** Hidenao Takahashi

経営戦略  
ファミリービジネス  
プロジェクト研究科目

専門分野 経営戦略論、技術経営論、産業組織論

教授／実務家教員  
**平田 エマ** Ema Hirata

パブリックマネジメント  
地域産業と事業創造  
プロジェクト研究科目

専門分野 地域産業、地域経済、地域政策

特任教授  
**飯塚 誠** Makoto Iizuka

環境ビジネス  
プロジェクト研究科目

現 職 INSUS株式会社 代表取締役

特任教授  
**井上 龍子** Ryuko Inoue

リーダーシップと倫理

現 職 八幡駅前開発株式会社 代表取締役社長

特任教授  
**木村 大成** Taisei Kimura

地域ブランド戦略

現 職 悠彩の宿望海 代表取締役社長

特任准教授  
**佐藤 幸博** Yukihiro Sato

地域政策

現 職 環境省 大臣官房 総合政策課

特任教授  
**原田 聡** Satoru Harada

サプライチェーン・マネジメント

現 職 トヨタ自動車九州 経営企画本部長次世代事業室長

特任教授  
**古長 由里子** Yuriko Furunaga

マーケティング戦略

現 職 日本アイ・ビー・エムデジタルサービス株式会社  
執行役員 地域Dxセンター事業部 九州DXセンター長

准教授  
**日下 勇歩** Yuho Kusaka

アカウンティング  
財務諸表分析と企業価値評価  
プロジェクト研究科目

専門分野 財務会計、財務諸表監査

教授／実務家教員  
**武田 寛** Hiroshi Takeda

ファイナンス  
フィナンシャル・インベストメント  
プロジェクト研究科目

専門分野 ファイナンス、国際経済、経済経営理論

教 授  
**松田 憲** Ken Matsuda

マーケティング  
消費者行動  
プロジェクト研究科目

専門分野 認知心理学、認知科学、消費者行動、マーケティング

特任教授  
**八木田 一世** Issei Yagita

マネジメント特殊講義A  
プロジェクト研究科目

現 職 マーケティングデザインスタジオSEE℃ 代表

特任教授  
**恩穂井 達也** Tatsuya Oshihoi

ビジネス法務

現 職 徳永・松崎・斉藤法律事務所 パートナー弁護士

特任教授  
**國本 政瑞沖** Masamizu Kunimoto

医療マネジメント

現 職 國本衛生コンサルタント事務所 代表

特任教授  
**藤 優之** Masayuki To

M&Aと戦略的提携

現 職 株式会社バリューアップファクトリー 代表取締役

専任教員 特任教員  
専門職大学院に関し必要な事項について定める件(平成15年文部科学省告示第53号)第2条第2項の規定により、実務家教員のうち専任教員以外の者であっても、専任教員とみなされる者

学内兼任教員  
**畔津 憲司**  
北九州市立大学 経済学部 教授

**アダム・ヘイルズ**  
北九州市立大学 外国語学部 教授

**市原 勇一**  
北九州市立大学 経済学部 准教授

**齋藤 朗宏**  
北九州市立大学 経済学部 教授

教授／実務家教員  
**古賀 桃子** Momoko Koga

プロジェクト・ファシリテーション  
地域づくり戦略  
プロジェクト研究科目

専門分野 地域づくり、非営利組織の経営、事業設計、コーディネート

教 授  
**鳥取部 真己** Maki Tottoribe

経営組織  
人材マネジメント  
プロジェクト研究科目

専門分野 人材マネジメント論、組織行動論、人材育成

教 授  
**松永 裕己** Hiromi Matsunaga

ソーシャルビジネス  
マネジメント特殊講義D  
プロジェクト研究科目

専門分野 環境ビジネス、ソーシャルビジネス、経済地理学

特任教授  
**力武 知嗣** Tomotsugu Rikitake

イノベーション戦略  
プロジェクト研究科目

現 職 力武デザイン事務所 代表

特任教授  
**岸良 吉晃** Yoshiaki Kishira

中華圏のビジネス

現 職 日鉄エンジニアリング株式会社 製造技術・管理部長

特任教授  
**桑園 英俊** Hidetoshi Kuwazono

福祉マネジメント

現 職 社会福祉法人 桑の実会 理事長

特任教授  
**遠矢 弘毅** Hiroki Toya

アントレプレナーシップ

現 職 北九州家守舎 代表取締役COO 最高執行責任者

非常勤講師  
**秋保 亮太**  
高知工科大学 経済・マネジメント学部 准教授

**久池井 茂**  
北九州工業高等専門学校 生産デザイン工学科 教授

**籠田 淳子**  
ゼムケンサービス代表取締役

**多田 盛弘**  
PERSOL Global Workforce 代表取締役社長

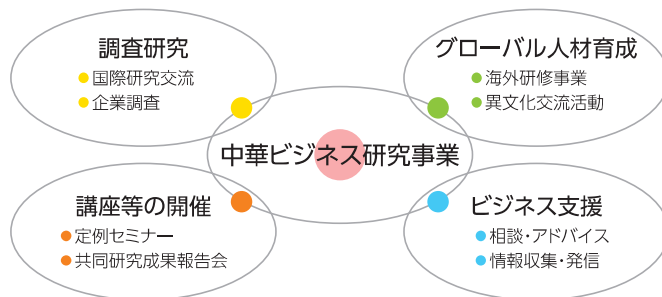
**永田 晃也**  
北陸先端科学技術大学院大学 副学長

# 国際交流

中華圏地域を中心とした東アジア地域のビジネススクールや研究機関との教育研究交流を進め、グローバルビジネス・リーダーの育成に力を入れています。

## ■中華ビジネス研究センター

北九州市立大学におけるこれまでの中国語教育の伝統および中華ビジネス研究の蓄積を活かした調査研究、さらには地域企業や行政機関等におけるグローバル人材の育成などを推進することにより地域社会の課題克服に寄与することを目的に、2014年8月に「中華ビジネス研究センター」を設置しました。



中華ビジネス研究センターの活動報告については、  
**ホームページ**  
<http://ccbs.kitakyu-u.ac.jp/>  
をご参照ください。



## ■主要交流実績

- ①シュタインバイス大学(ドイツ)との共同研修
- ②中国大連理工大学管理学院との学術交流MOU
- ③中国人民大学中国経済改革発展研究院(北京)との学術交流協定
- ④遼寧大学商学院(瀋陽)との学術交流協定
- ⑤遼寧大学新華国際商学院(瀋陽)との学術交流協定
- ⑥東北大学工商管理学院(瀋陽)との学術交流協定
- ⑦香港大学華人経営研究センターとの学術交流MOU
- ⑧マカオ大学工商管理学院との学術交流MOU
- ⑨マカオ大学アジア太平洋経済経営研究所との学術交流MOU
- ⑩中評シンクタンク・ファンデーション(香港)との学術交流MOU
- ⑪香港中文大学国際ビジネス研究センターとの学術交流MOU
- ⑫中国人民大学中国民営企業研究センターとの学術交流協定
- ⑬山東大学管理学院(済南)との学術交流MOU
- ⑭南洋理工大学中華言語文化研究センター(シンガポール)との学術交流MOU
- ⑮中山大学管理学院(広州)との学術交流MOU
- ⑯中山大学同族企業センター(広州)との学術交流MOU
- ⑰国立中山大学管理学院(高雄)との学術交流MOU
- ⑱マヒドン大学中国・アジアグローバル化研究センター(タイバンコク)との学術交流MOU
- ⑲国立中興大学管理学院(台中)及び附属の磐石産学研究センターとの学術交流MOU

## ■講座等の開催

新春特別セミナー2025(第九回「東アジア経済論壇」)  
(フランキー・ウー・アジア国際交流ホール、2025年3月15日㊥)

- テーマ: 東アジア地域企業の経営国際化と持続発展
- 代表挨拶: 柳井 雅人 北九州市立大学学長

### 第一セッション 長寿企業の持続発展の秘訣

#### ■ パネリスト

- 黄 泰岩 中国人民大学中国民営企業研究センター長  
兼中央民族大学興辺富民戦略研究院長
- 辻田 素子 龍谷大学経済学部教授
- 王 平 中国評論通信社(香港)副社長兼中評智库基金会上席研究員
- 松永 康志 シャボン玉石けん株式会社取締役営業本部長
- 王 効平 北九州市立大学中華ビジネス研究センター長(兼モデレーター)

### 第二セッション 国際事業展開と東アジアのビジネス文化

#### ■ パネリスト

- 劉 宏 シンガポール南洋理工大学副学長兼公共管理大学院院長
- 袁 鶴齡 国立中興大学(台中)EMBA教授兼中華台商研究学会理事長
- Wichai Choi タイ王国カシコンバンク上級副総裁(国際事業統括)
- 田中 裕弓 株式会社リョウワ代表取締役
- 伊東 正裕 香港貿易発展局東京事務所長(兼モデレーター)

## ■海外研修

海外協定先のビジネススクールの支援を得て、海外企業などの現場体験が可能な実践的教育プログラム(選択科目)として、例年夏季集中講義期間中に「海外研修」を開講しています。過去計14期実施。

①開講時期: 9月中旬。 ②訪問先: 中国大陸・香港・マカオ・台湾からなる中華地域、ASEAN地域。 ③参加人数: 約20名。 ④活動内容: 交流先ビジネススクールから提供される特別講義の受講、現地企業・外資系企業の視察訪問、現地MBA・EMBA院生(経営管理職)とのパネルディスカッションなど。

## ■海外ビジネススクールの来日研修交流支援事業

本学と交流協定関係にある海外ビジネススクールの来日研修事業をサポート。2018年度、国立中山大学(高雄)管理学院EMBAコース、2019年度キングモンクトン工科大学(バンコク)ビジネススクール、2023-24年度清華大学(北京)大学院工程管理研究科医薬プログラム、2024年度国立中興大学(台中)管理学院EMBAコース訪日研修団を受け入れました。本研究科教員・地域専門家による特別講義提供、本市における企業視察、本研究科院生・修了生達との親睦交流イベントを企画・実施しました。



2025年度海外研修中国深圳市テンセント本社訪問、現場講義受講  
(中山大学管理学院の支援による特別講義提供、招商银行ほか2企業見学訪問)



同海外研修時、ベトナム南部AMATA産業園区見学訪問、  
外資受入実績について説明を受ける  
(ほか香港SUNVAHグループホーチミン本部、  
台湾系、現地系企業、日系駐在2機構訪問)

## 入試説明会日程

|     |                            |     |                          |
|-----|----------------------------|-----|--------------------------|
| 秋 期 | 2026年 8 月 5 日㊦ 19:00～20:30 | 冬 期 | 2026年11月11日㊦ 19:00～20:30 |
|     | 2026年 8 月 8 日㊤ 10:30～12:00 |     | 2026年11月14日㊤ 10:30～12:00 |

## 2027年度 入試概要

大学を卒業し、企業・官公庁等で満2年以上の実務経験を有する社会人を中心に30名募集します。

ただし、進学者についても若干名募集します。

|      |     |         |                                       |
|------|-----|---------|---------------------------------------|
| 選考方法 | 社会人 | 一般      | 出願書類をもとにした書類審査(1次選考)と、面接試験(2次選考)      |
|      |     | 企業派遣・推薦 | 面接試験                                  |
|      | 進学者 |         | 出願書類をもとにした書類審査(1次選考)と、面接試験・筆記試験(2次選考) |

### 入学資格審査

大学卒業以外の方を対象に、大学卒業と同等以上の学力があるかの審査(入学資格審査)を行います。詳しくは学生募集要項をご確認ください。

なお、学生募集要項の入手方法は以下のとおりです。

### 学生募集要項の入手方法

北九州市立大学ビジネススクールホームページよりダウンロードしてください。

URL

[https://k2bs.kitakyu-u.ac.jp/?page\\_id=3881](https://k2bs.kitakyu-u.ac.jp/?page_id=3881)



### インターネットによる出願手続

出願に関する手続きは、インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等を利用して行います。

出願方法や出願書類の種類については、事前に必ず学生募集要項をご確認ください。



2026年3月学位授与式

# !! 入学金・授業料・支援制度

## ■入学金・授業料

入学金と授業料の額は右図の通りです。

|             |            | 金 額      |
|-------------|------------|----------|
| 入学金         | 市内居住者      | 282,000円 |
|             | 上記以外居住者    | 423,000円 |
| 授業料<br>(年間) | 第1期(4～9月)  | 267,900円 |
|             | 第2期(10～3月) | 267,900円 |

(注1) 現行の金額です。変更となる場合があります。

(注2) 市内居住者とは

- (1) 本人、配偶者、2親等以内の親族が市民税納税者(または市民税非課税者)であり、かつ入学金納入の時まで引き続き北九州市内に住所を有する者。
- (2) 北九州市内の事業所などに勤務または北九州市内に本店などを置く事業所に勤務する者。

## ■奨学金

人物、学業がともに優秀かつ健康であって、経済的理由のため修学が困難であると認められる者に対しては、選考の上、日本学生支援機構(旧・日本育英会)の奨学金が貸与される制度があります。

## ■北九州市立大学大学院マネジメント研究科 特待奨学生制度(2027年度)

大学院マネジメント研究科選考選抜における「選抜区分 ②大学などからの進学者」において入学を許可された者のうち、学業成績が特に優れ、かつ人物優秀であると認められる者が対象です。

但し、本研究科入学の年(2027年)の3月に本学学部等(外国語学部、経済学部、文学部、法学部、地域創生学群及び国際環境工学部)を卒業した者に限ります。

特待奨学生に関する申請は必要ありません。

大学側で該当する対象者を選考審査した上で、特別奨学生として認定された者に対して、2027年4月中に文書でお知らせします。

## ■教育訓練給付制度

K<sup>2</sup>BSは、専門実践教育訓練制度の指定講座です。北九州市立大学大学院マネジメント研究科への入学者で、一定の条件を満たす、雇用保険の一般被保険者(在職者)または一般被保険者であった方(離職者)のうち、①2年間で修了予定の方(長期履修希望者は対象外) ②「専門実践教育訓練給付金」の受給資格を有している方で所定の条件を満たす形で修了した場合、支払った入学金・授業料の一定の割合額がハローワークから支給されます。

専門実践教育訓練給付金の支給を希望する方は、受講開始2週間前までに、本人の住所を管轄するハローワークに申請手続きが必要です。

詳しくは、本人の住所を管轄するハローワークにご確認ください。

### 専門実践教育訓練での「教育訓練給付金制度」とは

厚生労働省・都道府県労働局・ハローワークHPより抜粋

働く人の主体的で、中長期的なキャリア形成を支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とする雇用保険の給付制度です。

### ■対象となる教育訓練経費(2026年4月現在) 市内居住者の場合

|          | 1学期      | 2学期      |
|----------|----------|----------|
| 入学金      | 282,000円 |          |
| 授業料(1年次) | 267,900円 | 267,900円 |
| 授業料(2年次) | 267,900円 | 267,900円 |

### ■教育訓練経費に対する国からの支給額

|     | 受講中(注1) | 修了後(注1)(注2)      |
|-----|---------|------------------|
| 支給額 | 50%     | 50%と追加で20% = 70% |

(注1) 各期において一定の単位修得が条件となります。受講中とみなされなかった期間以降は給付金が支給されません。また、支給額には上限がございますので、ご確認ください。

(注2) 修了時点で一般被保険者として雇用されている場合、及び修了後1年以内に一般被保険者として雇用された場合。

## ■授業料の例

|    | 標準修業年限<br>2年の場合 | 長期履修<br>3年の場合   | 長期履修<br>4年の場合   |
|----|-----------------|-----------------|-----------------|
| 金額 | 1年目<br>535,800円 | 1年目<br>357,200円 | 1年目<br>267,900円 |
|    |                 | 2年目<br>357,200円 | 2年目<br>267,900円 |
|    | 2年目<br>535,800円 | 3年目<br>357,200円 | 3年目<br>267,900円 |
|    |                 |                 | 4年目<br>267,900円 |
| 総額 | 1,071,600円      |                 |                 |

※現行の授業料による例です。

※長期履修期間中に授業料が改定された場合には、改定後の額で再計算されます。

# !! 長期履修制度

職業を有している等の理由によって、標準修業年限である2年間の修了が困難である場合、最長4年間で計画的に教育課程を履修し、修了することができる制度です。

授業料は、2年間分の授業料総額を、長期履修が認められた年数(3年または4年)の間、分割して納入することになります。

長期履修制度を利用して修学する場合は、申請の手続きが必要です。

## ■2027年度入試日程

|          | 秋期日程                          | 冬期日程                           |
|----------|-------------------------------|--------------------------------|
| 出願期間     | 2026年 9 月16日(※) ~ 9 月25日(金)必着 | 2027年 1 月 4 日(月) ~ 1 月14日(※)必着 |
| 1次選考結果通知 | 2026年10月13日(※)頃               | 2027年 1 月29日(金)頃               |
| 2次選考試験日  | 2026年10月25日(日)                | 2027年 2 月11日(※・※)              |
| 合格発表日    | 2026年10月30日(金)                | 2027年 2 月15日(月)                |
| 入学手続     | 2027年 3 月 9 日(※) ~15日(月)      |                                |



### 小倉サテライト キャンパス

アミュプラザ小倉7F

小倉駅直結のアミュプラザ小倉7Fを使用し、平日夜間の授業を実施しています。MBA関係の図書・学生用パソコン・自習スペース・ミーティングスペース・コピー機などを完備し、快適な学習環境を提供しています。



### 北方キャンパス

モノレール競馬場前(北九州市立大学前)駅より 徒歩約3分

土曜日の講義を行っています。本館8Fには、マネジメント研究科資料室を設置しており、教員・学生の集い・交流・学習の場として、MBA関係の図書・学生用パソコン・自習スペース・ミーティングスペース・コピー機等を完備しています。



## 北九州市立大学ビジネススクール

北九州市立大学大学院  
マネジメント研究科(専門職大学院)

〒802-8577 北九州市小倉南区北方四丁目2番1号

|         |        |                      |
|---------|--------|----------------------|
| お問い合わせ先 | TEL    | 093-964-4208         |
|         | FAX    | 093-964-4176         |
|         | E-mail | k2bs@kitakyu-u.ac.jp |

窓口営業時間 月曜日～金曜日 8:30～17:15

<https://k2bs.kitakyu-u.ac.jp>

K2BS

検索

